

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
施術概論 1											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	富田 泰彦			実務 経験	有	職種	医師				
授業概要											
部位別の具体的な外傷の成り立ちや施術方法について学びます。											
到達目標											
医療機関では、患者がもっている精神的・肉体的異常を、まず正確に把握しなければならず、こうした医療行為が診察であり、それにより患者が健康に復帰するために行う処置、すなわち治療を施すための根拠が得られることになる。診察から診断について学ぶことで柔道整復師本来の業務範囲に活用できることが目標である。											
授業方法											
教科書を中心として授業を進める。医療従事者は症状・診断法・注意すべき顔貌や愁訴など、いくつかの疾患を念頭に置きながら、それらのなかからその患者に最も妥当と考えられる疾患名を判定できる能力を必要とされる。柔道整復師として臨床現場においても求められる鑑別診断の知識を、内科学を学ぶことで育成する。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書（一般臨床医学 第2版 -社団法人 全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	診察概論 診察各論①（診察の意義・問診の意義と方法）										
第2回	診察各論②（視診の意義・方法）										
第3回	診察各論③（全身から局所の視診）										

施術概論 1

第4回	診察各論④（打診・聴診の意義と方法）
第5回	診察各論⑤（触診の意義と方法）
第6回	診察各論⑥（生命徴候で体温・血圧・脈拍・呼吸について）
第7回	診察各論⑦（知覚検査の意義と方法）
第8回	7週までの振り返りと確認演習
第9回	診察各論⑧（反射の種類と反射検査の意義と注意事項）
第10回	診察各論⑨（代表的臨床症状）
第11回	診察各論⑩（代表的臨床症状）
第12回	検査法（血圧・脈拍・呼吸・体温や心電図・脳波・筋電図・検体・運動機能の各検査）
第13回	主要な疾患（呼吸器疾患総論）
第14回	13週までの振り返りと確認演習
第15回	まとめ